

【白根福音教会基本的教義】

「六十六巻の新旧約聖書は、聖霊の完全な支配のもとに書かれたものであって、いかなる誤りもない。したがって聖書は、神のことばであって、信仰と生活の唯一完全絶対の規範である。」（聖書の無謬性）

このことから、聖書の教えのみが教会では受入れられ、信仰告白されている。以下はその主要なものである。

「すべての人は、生まれながらに罪人であり、イエス・キリストを救い主と信じることによってのみ、神に罪ゆるされて救われる。」（罪人の救い）

「救いはイエスによる十字架の救いのみわざを信じる信仰にのみよるゆえに、他のいかなる行為や組織、代理人も必要としない。」（唯一の救い）

「神は、父・子・聖霊の三位一体にして、その本質と完全において全く同一である。」（三位一体）

「父なる神は、唯一にして永遠・不変・遍在にして、全知全能なる万物の創造者。」（神の属性）

「子なる神イエス・キリストは、永遠に父なる神から生まれ、神と人との間の仲保者として、聖霊によって処女マリヤから生まれた救い主である。」（キリストの二性）

「聖霊は父と子から永遠に出て、人のうちに父と神をしめし、信仰に至らせ、あらゆる信仰のみわざを導く。」（聖霊のみわざ）

【日本福音キリスト教会連合信仰告白】

1. [聖書] 聖書は、旧新約六十六巻からなり、すべて神によって靈感された、誤りのない神のことばである。聖書は、神が救いについて啓示しようとしたすべてを含み、信仰と生活との唯一絶対の規範である。
2. [神] 神は、唯一であり、霊なるお方である。その存在、知恵、力、聖、義、愛、真実において無限、永遠、不変である。神はその本質において一つであるが、父、子、聖霊の三位において永遠に存在しておられる。
3. [神のみわざ] 神はその主権によって万物を創造し、支配しておられる。神は、みこころのままに、罪人を救うため、時至って御子を世に遣わされた。
4. [人間] 神は人を神のかたちに創造された。最初の人アダムは神との正しい関係にあったが、サタンの誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯し、墮落した。すべての人は

アダムにあって罪を犯したので、生まれながら罪の性質を持っており、神の御怒りのもとにある。

5. [キリスト] 主イエス・キリストは、まことの神であり、まことの人である。主は、聖霊によってみごもった処女マリヤから生まれ、人類の罪のために、身代わりとして十字架の上で死に、葬られ、三日目によみがえり、天に昇られた。主は今、父なる神の右に座して、大祭司の務めをしておられる。
6. [聖霊] 聖霊は、人に罪を認めさせ、新たに生まれさせて、神の子どもとされる。聖霊は、キリストを信じる者の内に住み、その人々を、この世でキリストにあって生きる者とし、キリストのかたちに形造られる。
7. [救い] 救いは、キリストの身代わりの死を信じる者に与えられる神の恵みの賜物である。罪が赦され、義と認められた者は、滅びることなく、永遠のいのちを与えられる。
8. [教会] 教会は、キリストをかしらとするからだであり、みことばの宣教により、聖霊によって新生した者の集まりである。教会は、神のみこころに従い、神を礼拝し、聖書を学び、バプテスマと聖餐の礼典を守り、福音を宣教し、主のしもべとして互いに仕え、福音のために共に戦い、愛のわざに励み、主の再臨を待ち望む。
9. [再臨と最後の審判] 主イエス・キリストは、みからだをもって再び来られる。死者はからだをもってよみがえり、すべての者がさばきの前に立つ。主は信じる者を永遠の祝福に、信じない者を永遠の刑罰に、分かち定められる。主は終わりにすべてを新たにし、御国を父なる神に渡される。

白根福音教会は以上の信仰告白を信じ、告白する。

付記

「日本福音キリスト教会連合信仰告白」は、日本福音キリスト教会連合に正式加盟することにより、2007年から告白する。

(以上、白根福音教会 教会教規より)

